

米子市スポーツ推進計画に掲げる施策の事業別実施状況

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度取組
基本方針Ⅰ 個々の適性や目的に応じたスポーツ活動の充実						
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進						
(1) 子どものスポーツ活動の推進						
I-1 (1)-ア	ア 幼児期からの体力向上の推進 親子体力づくり大会	毎年体育の日に未就学の子供とその保護者を対象に、親子体操・リズム体操・器具を使った体操など行う、親子体力づくり大会を開催します。親子で運動遊びを楽しんでもらうことにより、運動に親しむ機会をつくります。家族で体を動かすことに関心を持ち、運動を積極的に生活の中に取り入れてもらい、幼児期における体力づくりの推進を図ります。	スポーツ振興課	10月13日に90組180名定員設定として開催した。参加人数は前年の70組140名から増加し、86組172名であった。次年度は健康対策課とも連携し、健康増進普及キャンペーンも同時に行うなど効果を高めていきたい。	【親子体力づくり大会】 開催日 令和7年10月13日 参加者数 172人	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 少年スポーツ教室	小学生・中学生を対象とする柔道、剣道、陸上競技、ミニバスケットボール、ラグビー、ハンドボール、夏季少年スポーツ教室などの教室を開催します。各教室を主宰する競技団体と連携して、スポーツ教室の充実を図り、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	通年開催の少年スポーツ教室(7教室)を開催。 夏期・秋季少年スポーツ教室(7教室)を開催。 全14教室を実施した。 参加者数は、前年は中止の教室もあったため1,055人増加した。 近年夏場の気温がかなり高くなっているため、開催時期等を検討するとともに、子どもが安全にスポーツ活動へ参加できる機会を拡充していくことを念頭に、夏場は空調のある屋内施設を活用した教室にするなど配慮をしていきたい。	【少年スポーツ教室】 参加者数 13,509人 (内訳) 剣道 1,371人 柔道 2,592人 陸上競技 176人 ミニバス 415人 体操 376人 ラグビー 1,017人 ハンドボール 7,281人 夏期教室(ゴルフ) 28人 夏期教室(空手道) 34人 夏期教室(ボクシング) 19人 夏期教室(バウンスボール) 33人 夏期教室(硬式テニス) 61人 夏期教室(バドミントン) 69人 夏期教室(ダンススポーツ) 37人	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 小学生を対象とする各種大会	少年野球大会、バレーボール大会、スポーツ少年団交流大会などを開催します。子ども達の体力づくりを含め、各競技の底辺拡大と競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	小学生を対象とした少年野球大会、バレーボール大会及びスポーツ少年団交流大会の3大会を開催した。 今後も社会情勢を見ながら、競技団体と連携した取組みを進め、多くの小学生に実戦経験や競技を通じた交流の場を提供していく。	【小学生スポーツ大会】 参加者数 546人 (内訳) 少年野球大会 12チーム 243人 小学生バレーボール大会 25チーム258人 スポーツ少年団交流大会 45人	継続
I-1 (1)-イ	イ 児童生徒のスポーツ活動の充実 スポーツ少年団運営事業	米子市スポーツ少年団の事務局として、活動の支援を行い、少年期から幅広いスポーツに親しみ、体を動かすことの楽しさにふれることにより、スポーツ活動を通じた子ども達の健全育成を図ります。	スポーツ振興課	各スポーツ少年団の交流を目的とした「スポーツ少年団交流大会」を開催した。 また、競技別交流大会(軟式野球)を開催したほか、県西部医師会や鳥取大学医学部附属病院と連携して「野球ひじ」の検診を開催し、青少年の健全育成を図った。 交流大会の参加者数は減少傾向にあり、多くの団員が競技種目の垣根を越えて交流できるよう企画の工夫が必要である。引き続き、子どもたちがスポーツに親しめる環境づくりに取り組んでいく。	【スポーツ少年団交流大会】 開催日 令和7年11月24日 参加者数 45人 【市競技別交流大会】 軟式野球 8チーム 野球ひじの検診 221人	継続
I-1 (1)-ウ	ウ 学校体育・部活動の充実 運動部活動推進事業	中学校の運動部活動において、専門的な指導ができる顧問がいらない場合等に、県が実施する外部指導者の派遣事業を活用し、運動部活動の指導の充実を図ることにより、運動部活動の活性化と競技力の向上を図ります。	学校教育課	【配置校】 東山中…女子卓球部 福生中…男女バドミントン部 福米中…軟式野球部 後藤ヶ丘中…女子新体操部、女子卓球部 弓ヶ浜中…男女剣道部、女子バスケットボール部 加茂中…男女剣道部、女子バレーボール部、男女バスケットボール部、サッカー部 【成果】 外部指導者を活用することにより、より専門的な指導が可能となり競技力向上につながった。	実施校 6校 部活数 11	補助金事業(県と市町で1/2)で継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度取組
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進						
(2) 成年期からのスポーツ活動の推進						
I-1-(2)	各種スポーツ大会	市民レガッタ、正月マラソン大会、ポッチャ大会、インディアカ大会、スキー大会など、年齢・経験を問わず、市民のだれもが気軽に参加しやすい大会を開催することにより、スポーツ活動の機会を提供し、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	市民レガッタについては、今年も全国から参加者を募集した結果、参加者数が前年の50人増に続き、令和7年度も微増の結果となった。 その他の大会については、前年度に引き続きポッチャ、インディアカ、マラソンとスキーを実施し、全体の参加者は前年と比べ微減。ポッチャについては当課で行っている器具の貸し出し件数は前年の31件から40件に増加している。 今後も競技団体と連携し、生涯スポーツの推進を図っていく。	参加者数 1,244人 (内訳) 市民レガッタ 291人 ポッチャ交流大会 169人(スポーツ少年団参加者含む) 正月マラソン 720人 インディアカ大会 70人 市民スキー大会 59人	継続
I-1-(2)	市民体育祭	公民館地区又は中学校校区単位のチームで参加できる野球、バドミントン、バレーボール大会などを開催し、競技スポーツに親しむ機会をつくることで、地域住民の交流及び地域のスポーツ活動の推進を図ります。	スポーツ振興課	参加チーム数、参加者数が減少している大会もあるが、参加要項の見直し、年齢制限等の出場資格の緩和や1地区あたりの参加チーム数の枠を広げるなど競技団体と協議するとともに、年間競技予定を市役所ホームページ上に公開し、周知することで参加者の増加につなげていく。	参加チーム 80チーム 参加者数 717人 (内訳) バドミントン 3チーム(22人) ソフトボール 4チーム(87人) 卓球 7チーム(90人) 野球 3チーム(66人) バレーボール 5チーム(66人) ソフトテニス 9チーム(103人) グラウンドゴルフ 41チーム(243人) ゲートボール 8チーム(40人)	継続
I-1-(2)	体力づくり歩け歩け大会・体力テスト会	スポーツ推進委員が主体となり、健康増進のため、誰でも参加できる毎月1回のウォーキング(歩け歩け大会)、年間2回の体力テスト会を実施します。スポーツや体力づくりへの関心を高め、気軽に運動に親しめる機会をつくり、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	【体力づくり歩け歩け大会】 令和7年度は8回実施した(7・8月は熱中症警戒アラートのため中止、1月は地震のため中止、2月は大雪のため中止)。 令和8年度以降、7・8月は熱中症予防のため開催をしない方針。気象状況(大雨・暴風・大雪警報)等による安全性に配慮しながら、気軽にウォーキングに親しめる機会を提供していく。 【体力テスト会】 令和7年度は前期・後期とも実施し、延べ127人の参加があった。 今後も継続して実施し、市民が気軽に自身の体力年齢を確認し、運動習慣を見直すことができる機会を提供していく。	【体力づくり歩け歩け大会】 実施回数 8回 参加者数 延べ287人 【体力テスト会】 前期 46人 後期 81人	継続
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進						
(3) 高齢者のスポーツ活動の推進						
I-1-(3)	がいなみつく予防トレーニング(通所型運動機能向上事業)	生活機能の低下が認められる高齢者を対象に、フィットネスクラブ、介護保険施設等で筋力トレーニング・有酸素運動・ストレッチ等を、理学療法士・作業療法士又は健康運動指導士により行います。運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課			令和4年度終了
I-1-(3)	フレイル予防実践教室	プレフレイル又はフレイルに該当した65歳以上の方を対象にフレイル状態の改善及び進行の予防を目的に3ヶ月間、週1回の教室を実施します。本事業を通して、フレイル予防活動の重要性の理解や日常生活における予防活動への意識付けを行うことにより、健康寿命の延伸を図ります。	フレイル対策推進課	参加者の年代は、75歳～84歳までの方の利用が多い傾向である。 昨年度と比べ参加者が減少したが、測定結果では、すべての項目において、改善または維持の割合が6割であった。教室終了後は、実施事業所の独自サービスやふらっと運動体験等に参加され、継続的な予防の取り組みにつながっている。 今後も、教室参加を積極的に促そう努めていく。	教室参加人数 182人 教室参加延べ人数 1,856人 移動支援利用人数 78人 移動支援利用延べ人数 822人	継続
I-1-(3)	ふらっと運動体操(通所型運動機能向上事業)	高齢者を対象に、ふれあいの里等、市内3箇所の施設に設置された運動トレーニング機器を開放し、予約なしでふらっと立ち寄り気軽に運動できる環境を整備することにより、運動することの楽しさを体感し、運動効果を理解してもらうことで、運動習慣につなげることを目指します。	フレイル対策推進課	各々のペースで、運動する雰囲気が定着している。また、各会場で参加者同士の会話も見られ、仲間づくりにも繋がっている。 令和5年度から、フレイル予防拠点に加え市内29公民館において、教室の様子をオンラインで繋ぎ、リモート会場として展開。各公民館年間6回以上の開場を目標に行った。	【ふらっと、運動体験!】 参加者数 延べ6,066人 実施回数 171回 【リモート運動体験】 ・フレイル対策拠点 参加者数 延べ2,421人 実施回数 144回 ・市内29公民館他民間事業所等 参加者数 延べ5,252人 実施回数 564回	継続
I-1-(3)	よなGO!GO!体操普及事業	高齢者が楽しく運動できるように「365歩のマーチ」の曲に合わせて、立ったり座ったりなど日常生活の動きを取り入れながら、普段動かさなかった関節や筋肉を動かす体操です。よなGOGO体操を普及させ、高齢者が出来るだけ、長く健康でいきいきした生活を送れるよう、運動習慣のきっかけづくりとすることを目指します。	フレイル対策推進課	普及事業としては終了し、現在各地のサロン等で実施されている。(Ⅱ-1 米子市健康づくり地域サポーター養成事業に移行) また、よなGOGO体操の他、地域医療介護の各生活場面で一貫して実践できることを目的に考案したネバーギバアップトレーニング(通称ネギトレ)の普及に努めている。ネギトレは本市が鳥大病院、社会福祉法人こうほうえんと協同して作成したトレーニング集である。		継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度取組
1 ライフステージ・適性に応じたスポーツ活動の推進						
(4) 障がい者のスポーツ活動の推進						
I-1-(4)	福祉大会等開催助成事業	鳥取県内で実施されている、さわやか車いすマラソン大会、手をつなぐスポーツ祭、アクアスロン皆生大会等の障がい者の各種大会の開催経費の一部を助成します。大会を通じて、障がい者がお互いの理解と親睦を深めると共に、積極的に社会参加する意欲を喚起することを目指します。また、市民の障がい者に対する正しい理解の啓発を図ります。	障がい者支援課	例年通り、アクアスロン皆生大会、手をつなぐスポーツ祭を開催することができた。車いすマラソンは雷のため当日中止となった。	【さわやか車いすマラソン大会】 開催日 令和7年9月13、14日 雷により中止 【手をつなぐスポーツ祭り】 開催日 令和7年11月29日 参加者数 選手179人、保護者・引率87人、関係者93人 【アクアスロン皆生大会】 開催日 令和7年10月12、13日 参加者数 選手86人、ボランティア230人	継続
I-1-(4)	各種スポーツ・体操講座(障がい者福祉施設管理運営事業)	指定管理者の自主事業として、米子市中心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフ、ヨガ、卓球等の講座や、車椅子バスケットボール、風船バレーボール、3B体操等のスポーツを行います。スポーツを通じて体を動かす喜びを知ってもらうことで、身体能力の向上と仲間との交流を図ります。また、運動不足になりがちな方々の身体能力の回復を図ります。スポーツ大会の際には、障がいのない人がボランティアとして参加するなど、障がいのある人となない人の交流促進を図ります。	障がい者支援課	指定管理者の自主事業として、米子市中心身障害者福祉センター又は米子サン・アビリティーズで、グラウンドゴルフやボッチャ、サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、風船バレーボール等のスポーツを行った。	グラウンドゴルフ 9回 ボッチャ 31回 サウンドテーブルテニス 24回 車いすバスケットボール 38回 風船バレーボール 20回 車いすアーチェリー 44回 ソーシャルフットサル 3回	継続
I-1-(4)	米子市こころの広場事業	在宅療養中で、精神に障がいのある方が、体育施設等でスポーツ(卓球、バドミントン、風船バレー等)を行うことで、他者との交流を図ります。	障がい者支援課	3月に米子サン・アビリティーズで、モルックの体験を行った。 【参考】 モルック…棒を投げて倒れたピンの内容によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点した方が勝ち。	モルックの体験 開催日 令和8年3月5日 参加者数 7人(うちボランティア2人)	継続
2 誰もが親しみやすいスポーツ活動の推進						
I-2	ユニバーサルスポーツ普及事業	各競技団体と連携し、風船バレー、スポーツ吹き矢、スポーツチャンバラ、ボッチャ、ウォーキングサッカー等を公民館で実施することで、生涯スポーツの推進やスポーツを通じた地域住民の交流を図ります。	スポーツ振興課	実施回数が前年の12回から11回に1回減少した。その結果、延べ人数は前年の331人から312人と微減した。 令和7年度は新規にスポーツチャンバラを実施し実施種目が3種から4種に増えた。 今後も、競技団体との連携しながら、ユニバーサルスポーツの普及と公民館でのスポーツを通じた交流を図っていく。	【ボッチャ教室】 4回実施 延参加者数 182人 【健康ボクシング教室】 2回実施 延参加者数 26人 【スポーツ吹き矢】 4回実施 延参加者数 90人 【スポーツチャンバラ】 1回実施 延参加者数 14人 総計 312人	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度 取組
基本方針Ⅱ スポーツ活動によるコミュニティづくりと地域振興						
1 地域のスポーツ活動の推進						
Ⅱ-1	スポーツ推進委員協議会運営事業	米子市スポーツ推進委員協議会を運営し、スポーツ推進委員により、住民に対するスポーツの実技の指導その他、スポーツに関する指導及び助言を行うことで、地域でのスポーツ活動の活性化に向けた取り組みを行い、生涯スポーツの推進を図ります。	スポーツ振興課	令和7年度は体力づくり歩け歩け大会、体カテスト会、ポッチャ交流大会及び機関紙の発行等、計画していた全ての事業を実施することができ、市民が気軽にスポーツに親しむことができる機会を創出することができた。 また、スポーツ推進委員を対象としたニュースポーツ講習会及び運動前後の正しいストレッチ研修を実施し、生涯スポーツの推進に向けて必要な知識や技能の習得を図った。 今後もスポーツ推進委員協議会の運営を通じ、生涯スポーツの推進を図っていく。	【ポッチャ交流大会】 参加者数 169人 【ニュースポーツ講習会（フラバールバレー、モルック）】 前期 34人 後期 28人 【ゆるダン研修】 参加者数 30人	継続
Ⅱ-1	学校体育施設開放事業	小中学校の体育館やグラウンドを学校運営に支障のない範囲で地域に開放します。学校体育施設を有効活用することにより、地域住民にスポーツ活動の場を提供し、地域でのスポーツの活性化を図ります。	こども施設課	学校運営に支障のない範囲で学校体育施設を地域に開放した。 昨年度比で利用実績が増加し、市民のスポーツ活動の場を提供することで、地域でのスポーツの活性化に寄与した。 今後の地区体育館の廃止計画や中学校部活動の地域移行への対応が急務となっていることを踏まえ、公平な利用調整に向け現行のルールを整理する必要がある。	【利用実績】 小学校 22,647件、536,324人 中学校 3,490件、55,382人 【学校当たり平均実績】 小学校(23校) 985件、22,318人 中学校(10校) 349件、5,538人	継続
Ⅱ-1	やって未来や塾(米子市地域健康づくり応援事業)	地域住民を対象に、健康運動指導士が運動を主体とした健康づくりのための運動指導及び活動支援を行います。地域住民が、自主的な活動として楽しく継続的に取り組んでいくことを支援し、運動を主体とした健康づくりを図ります。	フレイル対策推進課	継続的支援、新規立ち上げ支援を行った。 年3回運動等の内容についての支援を行った。 新規の立ち上げは1か所であった。	【新規活動支援】 1か所、3回 参加者数 延べ53人 【継続活動支援】 31か所、93回 参加者数 延べ1096人	継続
Ⅱ-1	米子市健康づくり地域サポーター養成事業	地域で運動を主体とした健康づくり活動をしたい方が、「健康づくり地域サポーター」として、地域で健康づくり活動を推進していきます。地域サポート講座や研修会等で得た介護予防に関する知識の地域への普及、「よなGOGO体操」の普及活動、地域の体力測定会やサロンでの健康づくり活動のサポートなどを行うことで、地域全体での高齢者を支える仲間づくりをすすめ、地域での健康づくりを目指します。	フレイル対策推進課	地域サポート講座基礎編を実施した。口腔機能の講座や地域で楽しくできるフレイル予防の体操等を行った。 サポーターの平均年齢が高くなっていることから、持続可能な体制整備を図る必要がある。	【基礎編】 1回 参加者数 37人	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度取組
2 スポーツに触れる機会の提供・スポーツツーリズムの推進						
Ⅱ-2	プロスポーツの支援活動	地元で活躍するプロスポーツチームの活動を応援し、また、競技、チームに関する情報発信や、ホームゲームに合わせてイベントを開催するといった、市民にプロスポーツをより身近に感じてもらえるような機会の提供に努めます。	スポーツ振興課	ガイナール鳥取ホームタウンデイでボルダリング、健康ボクシング、ボッチャなど老若男女問わず誰でも楽しく体を動かせるイベントを開催し、親子連れを中心にファン層の拡大に努めた。	【ガイナールホームタウンデイイベント】 開催日 令和7年10月5日	継続
Ⅱ-2	全日本トライアスロン皆生大会	日本トライアスロン発祥の大会であり、本市を発着点として鳥取県西部一円で開催されています。大会では毎年4,000名を超えるボランティアが参加し、市民と選手が直接触れ合う機会となっています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	全国から1,170人の選手と約3,000人のボランティアが参加した。参加者の裾野を広げていくことを目的に、令和7年度から新たにバイク、ランの距離が短いBコース(セミロングタイプ)を立ち上げ、123人が出場した。持続可能な大会となるよう、選手、運営サイドともに人が集まりやすい仕組みを今後も検討していく。	【全日本トライアスロン皆生大会】 参加選手 1,170人	継続
Ⅱ-2	皆生・大山SEA TO SUMMIT	日本海から大山山頂までをカヤック・自転車・登山の3種目で目指す体験型環境スポーツイベントで、平成27年には200名以上の方が参加しています。この大会の開催を支援し、観光資源として活用することにより、誘客を促進し、地域振興を図ります。	スポーツ振興課	参加人数は前年の130人から183人に大幅増加。本イベントは、この地域を代表するスポーツツーリズムの大会であり、地域振興に資するものであることから、モンベル、鳥取県、大山町及び日吉津村と連携を図り、今後の継続開催に向けて準備を進めていく。	【皆生・大山SEA TO SUMMIT2025】 参加者数 183人	継続
Ⅱ-2	サイクルスポーツ推進事業	大山山麓・日野川流域観光推進協議会及び近隣市町村等と連携し弓ヶ浜サイクリングコースを活用した魅力発信事業を展開します。また、観光誘客向けのガイド育成やハード整備等に力を注ぐことによりナショナルサイクルルート認定に向けた取組を推進すると共に、サイクルスポーツを通じた地域の活性化を図ります。	観光課	「大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業」の中で、サイクリスト聖地化事業を実施し、サイクリングツアー商品造成を実施した。さらに、日吉津村と連携し、サイクルカーニバル2025の開催支援を行うことで、圏域内の機運醸成と魅力発信を行った。	【大山山麓・日野川流域観光推進協議会事業】 「サイクリングツアー商品造成」 ・サイクルカーニバル健脚コース体験ツアー (対象:中級サイクリスト) 【実施日】令和7年8月30日 【参加者】20名 ・サイクルカーニバル前日ツアー (対象:初級サイクリスト) 【実施日】令和7年9月6日 【参加者】6名 ・大山寺サイクルバス・宿坊ツアー (対象:初級から中級以上サイクリスト) 【実施日】令和7年11月8～9日【参加者】6名 ・秋の日野路ロングライドツアー (対象:中級以上サイクリスト) 【実施日】令和7年11月15日 【参加者】10名 【サイクルカーニバル2025】 主催 米子日吉津商工会 開催日 令和7年9月7日 参加者 210名 来場者 約2,500名	継続

米子市スポーツ推進計画における施策		具体的事業内容	所管	令和7年度中の取組状況及び成果、課題	実施件数、参加者数等の実績	次年度 取組
基本方針Ⅲ スポーツ環境の充実						
1 競技力の向上						
Ⅲ-1	スポーツ協会運営事業	米子市スポーツ協会を運営し、スポーツ団体との連絡調整を行い、優秀な成績を収めた競技者を表彰するなどして、各種スポーツの振興を図るとともに、各競技団体の競技力向上を図ります。	スポーツ振興課	米子市スポーツ協会として、以下の事業を実施した。 ・10種目のスポーツ教室、9種目のスポーツ大会、8種目の市民体育祭を加盟団体に委託して実施することにより、市民体育行事への推進と協力を図った。 ・鳥取県民スポレク祭実行委員会に参画し、加盟団体に対し参加の呼びかけと参加者の取りまとめを行った。 ・県大会以上の大会で優れた成績を挙げた小学生から一般の選手について、加盟団体からの推薦に基づき選考し、表彰した。	【鳥取県民スポレク祭参加者実績】 1,375人 【スポーツ表彰事業】 個人 152人 団体 32団体 【小学生全国大会出場激励金交付事業】 個人 28人 団体 5団体	継続
2 スポーツ施設等の充実						
Ⅲ-2	体育施設管理運営事業	体育施設については、各種スポーツ大会の会場及び災害時の避難所となるため、危険箇所及び老朽箇所の改修を行い、利用者に安全・快適に体育施設を利用してもらえるよう管理運営に努めます。	スポーツ振興課	【米子アリーナ】 令和5年度に締結した契約に基づき、実施設計をまとめ、令和7年6月より工事を着工した(竣工は令和9年6月予定)。 【市民球場】 市民球場トイレの洋式化改修(5基)を実施した。 【東山庭球場】 壁打ちコートの舗装補修を実施した。 【日野川運動公園】 老朽化により破損していた野球グラウンドファウルボール改修(2本)を実施した。 【皆生市民プール】 子ども用プールのスライダー改修を実施した。	【米子アリーナ】 新体育館整備等事業委託 【市民球場】 トイレ洋式化改修業務委託 【東山庭球場】 壁打ちコート舗装補修業務委託 【日野川運動公園】 ファウルボール改修業務 【皆生市民プール】 プールスライダー改修業務委託	継続
3 心身の安全・安心の確保						
Ⅲ-3	スポーツ協会運営事業(再掲) スポーツ少年団運営事業(再掲)	各競技団体や県スポーツ協会、各学校と連携し、指導者の育成を行い、スポーツ実施者にとって安全・安心なスポーツ環境の提供を図ります。	スポーツ振興課	県西部のスポーツ少年団指導者を対象に、「見逃さない・悪化させない:スポーツ活動の安全確保に向けた頭部外傷マネジメント～重篤な後遺症を回避するために～」と題して、鳥取大学医学部附属病院脳神経外科医 神部 敦司先生を講師に迎え、競技中の頭部への外傷を負った際のケアなどについて講演を行った。	開催日 令和8年2月15日 参加者数 41人(うち市内27人)	継続

《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(1) 子どものスポーツ活動の推進

【親子体力づくり大会】

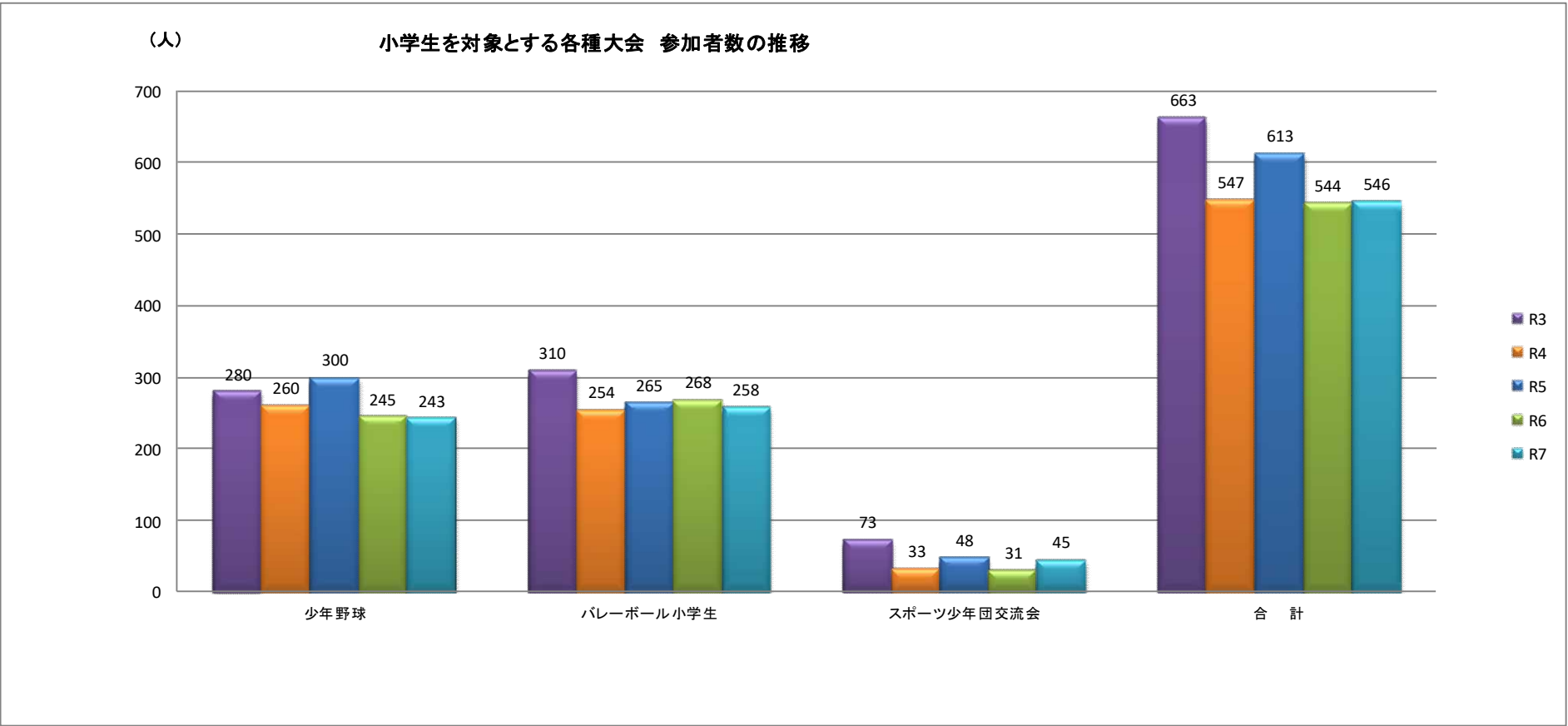
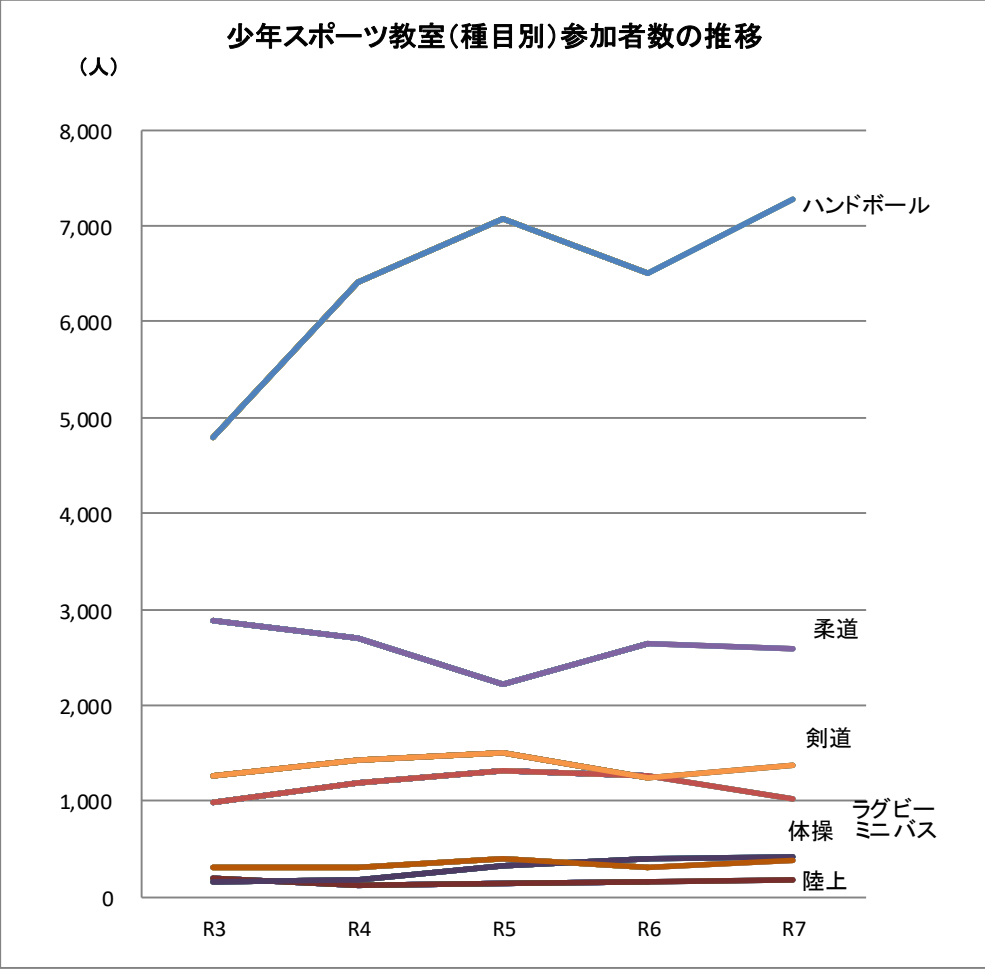
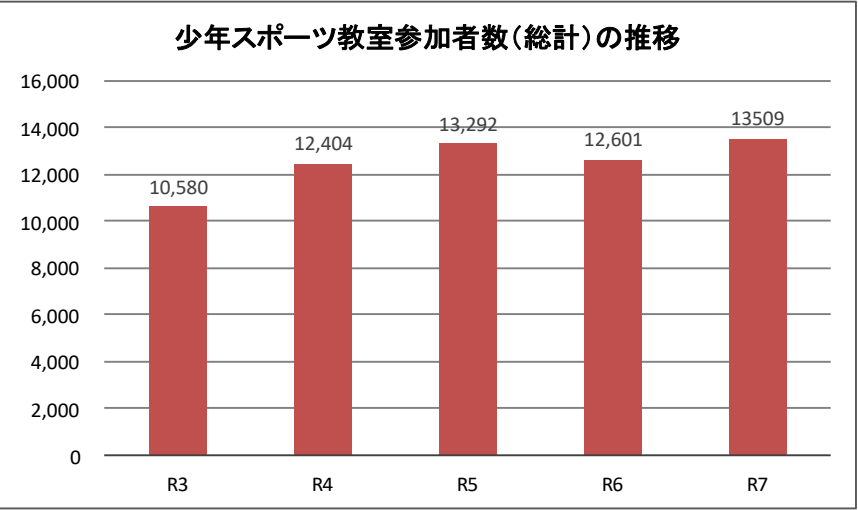
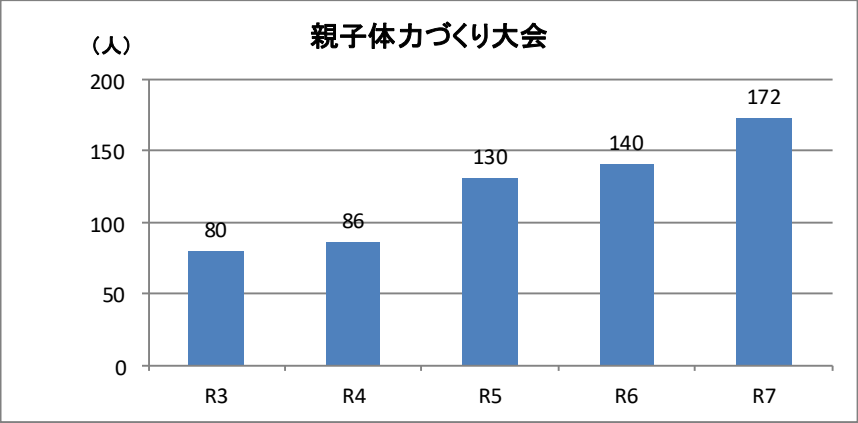
種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
親子体力づくり大会	子ども	40	43	65	70	86
	親	40	43	65	70	86
	計	80	86	130	140	172

【少年スポーツ教室】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
ラグビー	回 数	29	64	69	76	121
	人 数	981	1,195	1,327	1,266	1017
柔道	回 数	126	141	139	137	134
	人 数	2,880	2,689	2,221	2,633	2592
剣道	回 数	117	132	125	125	130
	人 数	1,260	1,430	1,496	1,237	1371
ハンドボール	回 数	154	162	177	162	169
	人 数	4,800	6,420	7,080	6,505	7281
陸上	回 数	6	6	7	7	8
	人 数	194	122	136	153	176
ミニバスケットボール	回 数	7	7	9	10	10
	人 数	165	180	322	390	415
体操	回 数	7	11	10	10	10
	人 数	300	315	393	311	376
テニス	回 数	中止	中止	1	中止	2
	人 数	中止	中止	39	中止	61
バドミントン	回 数	中止	中止	3	中止	2
	人 数	中止	中止	94	中止	69
空手道	回 数	中止	2	2	2	2
	人 数	中止	17	32	32	34
ダンススポーツ (R4～)	回 数		中止	3	3	3
	人 数		中止	36	35	37
バウンスポール (R4～)	回 数		中止	4	中止	3
	人 数		中止	44	中止	33
ゴルフ(R4～)	回 数		1	1	1	1
	人 数		23	33	22	28
ボクシング (R4～)	回 数		4	4	2	2
	人 数		13	39	17	19
合 計	回 数	446	528	549	530	597
	人 数	10,580	12,404	13,292	12,601	13509

【小学生を対象とする各種大会の開催】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
少年野球	チーム数	18	16	14	14	12
	人数	280	260	300	245	243
バレーボール小学生	チーム数	28	24	25	26	25
	人数	310	254	265	268	258
スポーツ少年団交流会	人 数	73	33	48	31	45
	チーム数	46	40	39	40	37
合 計	人数	663	547	613	544	546



《参考資料》

基本方針Ⅰ-1-(2) 成年期からのスポーツ活動の推進

【各種スポーツ大会】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
市民レガッタ	チーム数	8	33	48	46	43
	人 数	50	200	238	287	291
インディアカ	チーム数	12	8	10	12	12
	人 数	68	41	50	60	70
ボッチャ	チーム数	30	21	26	28	40
	人 数	116	78	100	104	169
正月マラソン						
	人 数		310	641	763	720
スキー						
	人 数		39	42	46	59
合 計	チーム数	50	62	84	86	95
	人 数	234	668	1,071	1,260	1,309

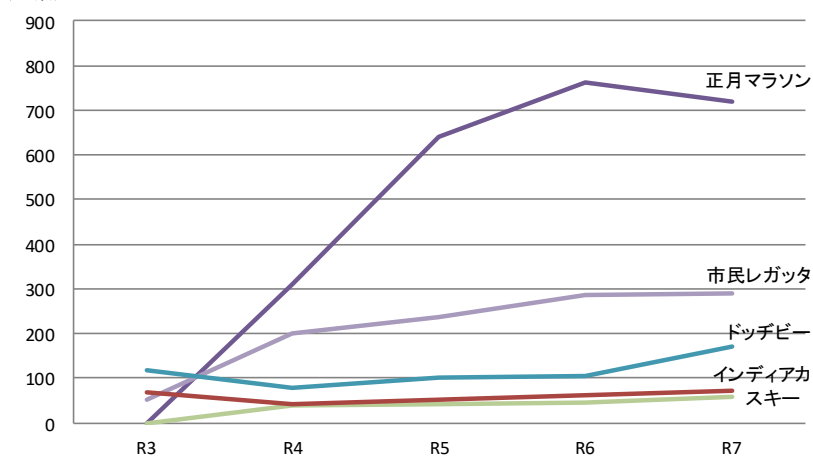
【体づくり歩け歩け大会・体カテスト会】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
体カテスト会	回 数		2	2	2	2
	人 数		73	105	55	127
体づくり歩け歩け大会	回 数	8	12	12	11	8
	人 数	270	502	551	496	287
合 計	人 数	270	575	656	551	414

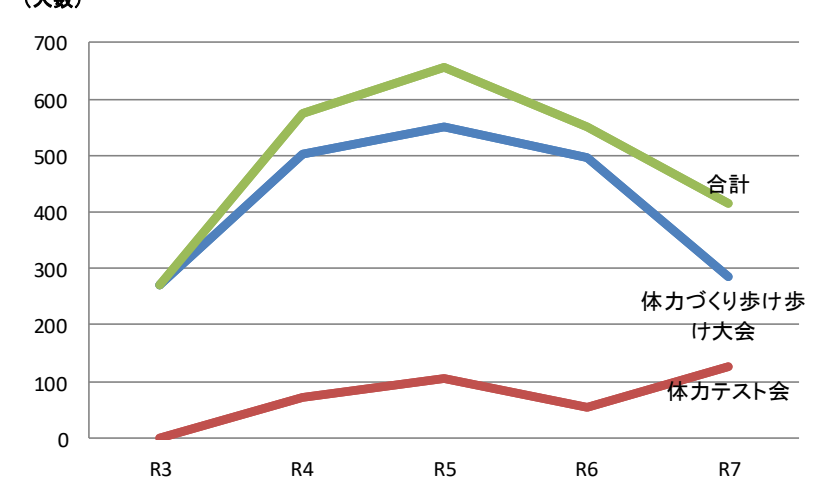
【市民体育祭】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
ソフトボール	チーム数	4	6	6	6	4
	人 数	56	70	120	131	87
卓球	チーム数	6	7	7	5	7
	人 数	63	70	78	70	90
バドミントン	チーム数	6	4	4		3
	人 数	42	35	26		22
バレーボール	チーム数	9		9	9	5
	人 数	128		109	114	66
ソフトテニス	チーム数	5	5	4	8	9
	人 数	72	81	92	102	103
グラウンドゴルフ	チーム数	57	51	50	44	41
	人 数	317	295	283	266	243
野球	チーム数		4	5	6	3
	人 数		44	60	130	66
ゲートボール	チーム数	10	10	8	8	8
	人 数	57	60	39	45	40
合 計	チーム数	97	87	93	86	80
	人 数	735	655	807	858	717

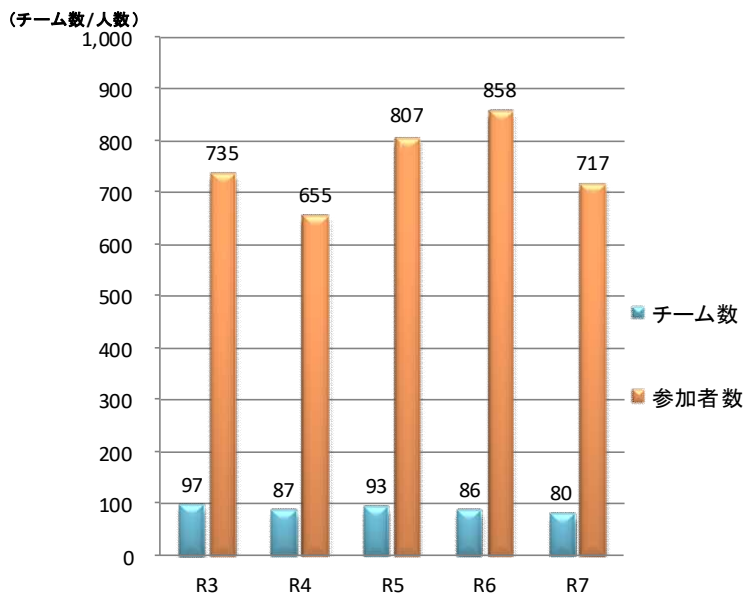
各種スポーツ大会参加者数の推移(種目別)



スポーツイベント参加者数の推移



市民体育祭参加者・チーム数の推移(総計)

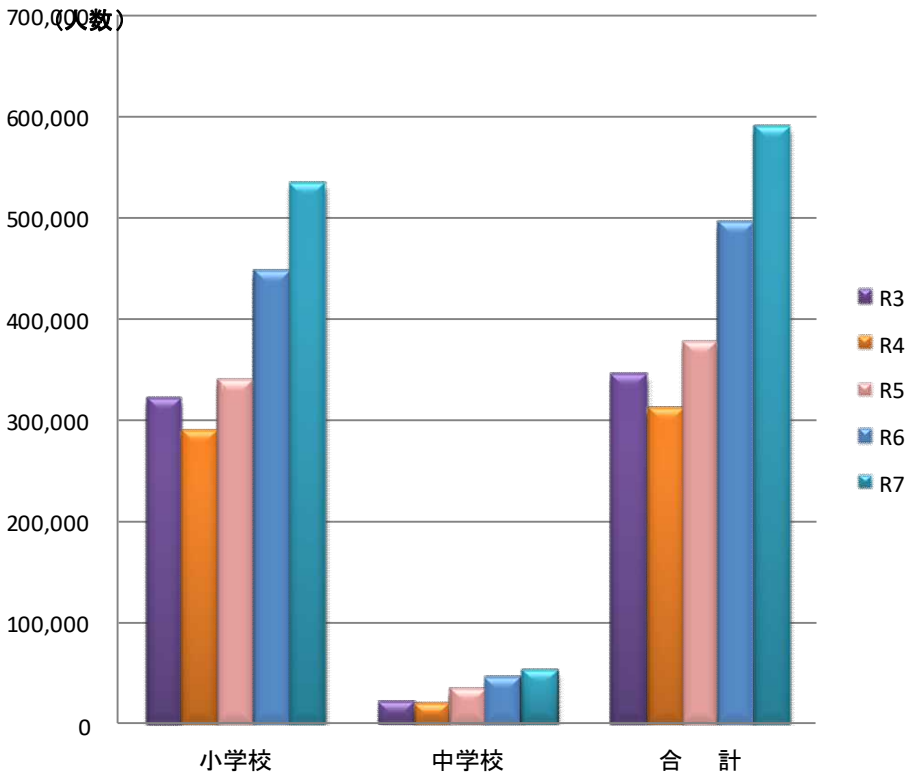


基本方針Ⅱ-1 地域のスポーツ活動の推進

【学校体育施設開放事業】

種 目	区分	R3	R4	R5	R6	R7
小学校	チーム数	14,550	13,419	14,494	19,654	22,647
	人 数	323,165	291,054	341,548	449,591	536,324
中学校	チーム数	1,636	1,657	2,156	2,907	3,490
	人 数	22,870	21,892	36,027	46,944	55,382
合 計	チーム数	16,186	15,076	16,650	22,561	26,137
	人 数	346,035	312,946	377,575	496,535	591,706

学校体育施設利用状況(人数)



基本方針Ⅲ-1 競技力の向上

【体育協会運営事業/体育表彰】

受賞名	種別	R3	R4	R5	R6	R7
体育功労賞	個 人	7	7	5	6	
優秀指導者賞	個 人	2	4	1	1	
スポーツ栄誉賞	個 人	2	5	5	6	
スポーツ特別賞	個 人	2	1	3	0	
スポーツ賞	個 人	8	42	59	58	
スポーツ賞	団 体	3	13	8	14	
スポーツ奨励賞	個 人	61	64	81	87	
スポーツ奨励賞	団 体	12	30	29	24	
合 計	個 人	82	123	154	158	
	団 体	15	43	37	38	